

平成28年3月28日

## 広島大学ダイバーシティ研究センターの設置について

広島大学では、4月1日に「広島大学ダイバーシティ研究センター」を設置します。本研究センターは、学内共同教育研究施設として10年の時限設置となります。

### ダイバーシティ・インクルージョン研究の拠点を目指す

広島大学は、男女共同参画、障がい学生支援(アクセシビリティセンター)、特別支援教育の分野で、日本でも先進的な業績を挙げてきています。この業績を基盤として、広島大学が進むべき次のステップは、

- ①ダイバーシティ・インクルージョン推進の拠点となること(多様な価値観や文化背景、個性をもった人々がともに生きる社会で、一人一人の個性を活かし、その能力を発揮できるような組織・チームを管理運営するスキルやリーダーシップに関する研究を行う)
- ②そうしたスキルやリーダーシップ能力をもった人材を育成することです。このステップのために、新たな学際的研究組織として、ダイバーシティ研究センターを設立します。

#### <取り組み事業の概要>

- (1) ダイバーシティ・インクルージョンに関する研究
- (2) ダイバーシティ・インクルージョン教育
- (3) 学内外のダイバーシティ・インクルージョンの推進
- (4) ダイバーシティを活かした研究

#### <経緯>

日本社会は、性別、国籍、民族、年齢などの属性や背景にかかわらず、誰もがその能力を最大限に発揮し、活躍できる社会を目指しています。同時に、国際的な競争力を高めるため、新たな着想や変革も求められています。多様な価値観や知識、文化背景を持つ人々がその個性と能力を活かし、革新的発想を生み出せるような仕組みづくりが必要となります。

しかし属性の多様性は、組織内での感情的な葛藤や対立を促進し、メンバ

ーのモチベーションを低下させる可能性も大きいため、そうした非生産的な関係に陥ることなく、多様性を創造や革新に結びつける方法を見出すためには、学術的に解決すべき点も多くあります。しかし日本では、この分野の研究者は相対的に少ないのが現状です。

また、「企業従業員のダイバーシティー」に関する研究は行われていますが、大学や学術界におけるダイバーシティー・インクルージョンに注目した研究は少ないのが現状です。

(参考)

ダイバーシティー・インクルージョンとは

日本では、ワークライフバランスや障がい者雇用のように、「マイノリティとされる人たちも雇用し働ける制度をつくること」を目指した動きが始まったばかりです。しかし本来は、単に「多様な人々が働ける環境を整える」ことに留まらず、価値観や知識など深層の多様性にも着目した上で、その多様性を積極的に受け入れ、活かすことによって、組織の生産性や革新に結びつけることを目指す必要があります。この理念と戦略を Diversity and Inclusion (ダイバーシティー・インクルージョン) と言います。

【お問い合わせ先】

広島大学学術・社会産学連携室 研究企画室 TEL: 082-424-5860 FAX:082-424-4592
--

## センターの組織図

